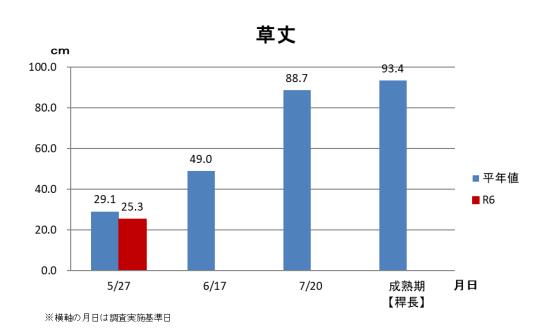
令和6年度 農作物(水稲)モニター事業調査結果

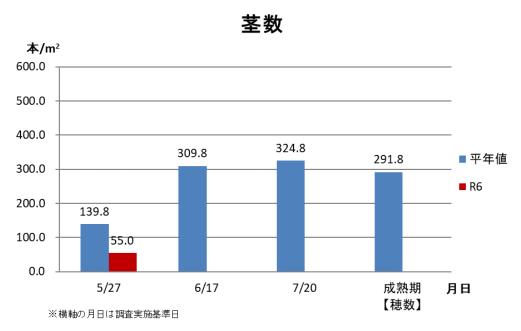
本県NOSAIでは、水稲の生育状況を調査し、気象・病害虫発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、 県内水稲の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

1. 水稲の生育および病害虫発生調査結果(第1回)

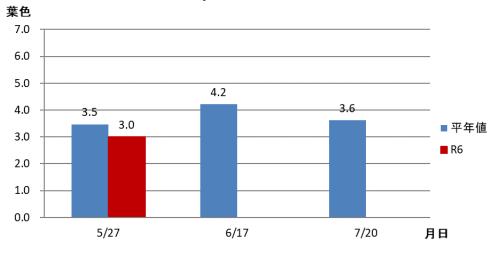
1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月6日	5月30日



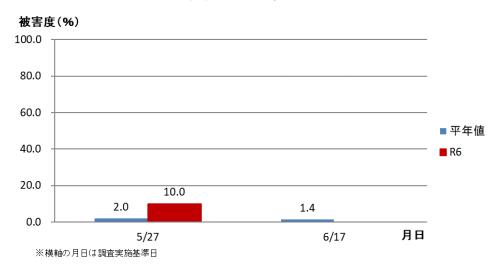


葉色(カラースケール)

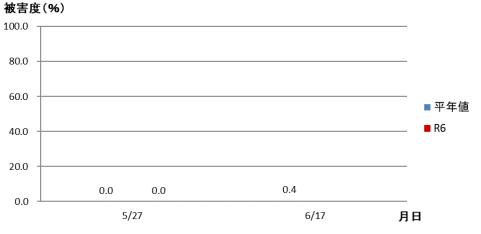


※横軸の月日は調査実施基準日

イネミズゾウムシ



イネドロオイムシ



※横軸の月日は調査実施基準日

○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は令和1年~令和5年の5年間の平均値

○生育調査の結果について

【生育状況:過去5カ年の平均値との比較】

生育は、過去5カ年の平均値に対し、草丈は低く、茎数は極く少なく、葉色はやや淡くなっています。

【今後の管理上の注意点】

茎数をはじめとして、生育は過去5カ年の平均値よりも緩慢です。活着後は2~3cm 程度の浅水管理とし、地温を上げて分げつの発生を促進させ、茎数確保に努めましょう。

一方、気象庁の向こう 1 か月の天候が、平均気温は高いと予報されており、茎数が急激に増加することが予想されますので、中干し適期を逃さないように注意します。

「コシヒカリ」では、茎数 330 本/㎡ (畦間 30cm×株間 20cm で 1 株当たり 20 本) の確保を確認したら、速やかに中干しを開始します。

また、梅雨時期において、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻(排水口)を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

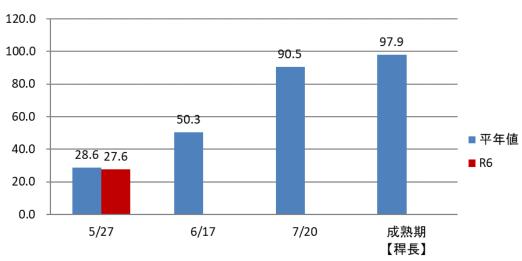
○病害虫発生調査の結果について

県病害虫防除所の病害虫発生予報 6 月号 (5/31 発行) によると、5 月下旬現在、イネミズゾウムシの発生は平年並、イネドロオイムシの発生も平年並です。イネの初期生育が遅い水田、育苗箱施用剤を使用していない水田では、イネミズゾウムシの発生に注意しましょう。今後、曇雨天が続くとイネドロオイムシの発生が助長されますので、発生状況に注意し、食害が目立つ場合は防除しましょう。

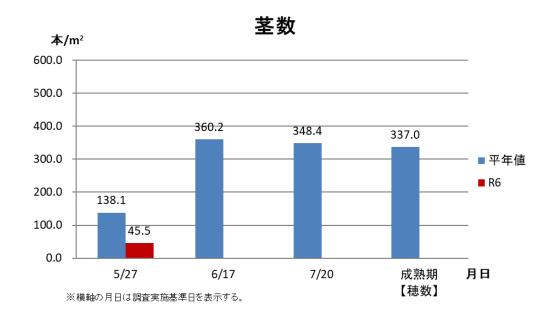
2) 茨城町の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月11日	5月30日

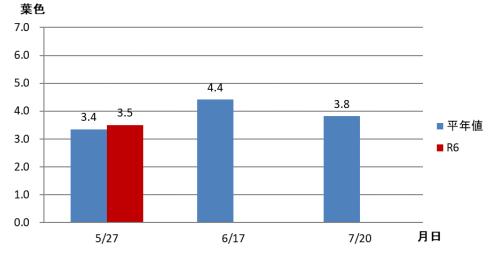
草丈



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

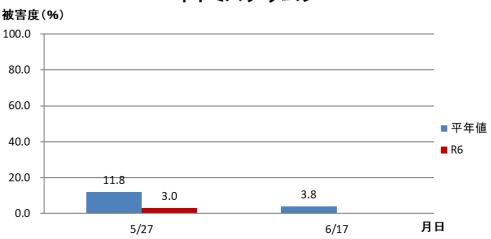


葉色(カラースケール)



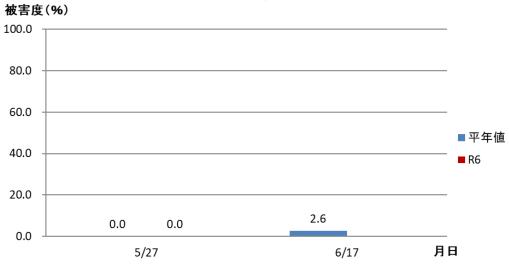
※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

イネミズゾウムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

イネドロオイムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

○被害度は該当虫による葉の食害の度合い

○平年値は令和1年~令和5年の5年間の平均

○生育調査の結果について

【生育状況:過去5カ年の平均値との比較】

生育は、過去5カ年の平均値に対し、草丈は平年並、茎数は極く少なく、葉色は平年並になっています。

【今後の管理上の注意点】

茎数が過去5カ年の平均値よりも少なくなっています。活着後は2~3cm 程度の浅水管理とし、地温を上げて分げつの発生を促進させ、茎数確保に努めましょう。

一方、気象庁の向こう1か月の天候が、平均気温は高いと予報されており、茎数が急激に増加することが予想されますので、中干し適期を逃さないように注意します。

「コシヒカリ」では、茎数 330 本/ \vec{m} (畦間 30 \vec{m} ×株間 20 \vec{m} で 1 株当たり 20 本) の確保を確認したら、速やかに中干しを開始します。

また、梅雨時期において、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻 (排水口)を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病害虫発生調査の結果について

県病害虫防除所の病害虫発生予報 6 月号 (5/31 発行)によると、5 月下旬現在、イネミズゾウムシの発生は平年並、イネドロオイムシの発生も平年並です。イネの初期生育が遅い水田、育苗箱施用剤を使用していない水田では、イネミズゾウムシの発生に注意しましょう。今後、曇雨天が続くとイネドロオイムシの発生が助長されますので、発生状況に注意し、食害が目立つ場合は防除しましょう。

2. 次回調查日

6月17日

茨城県農業共済組合連合会調べ協力:茨城県農業総合センター